委託業務成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 考査項目細別の a, b, c のどれか1つを選択し、評定欄に記入してください。 【設計業務】

[記入力法] 考貸項日前	<u> </u>	選択し、評定欄に記入してください。	T .		【設計業務】
項目	細別	加 点 要 素 a	加 減 点 な し り	減 点 要 素 c	評 定
1業務の実施計画段階	I業務の理解	設計の目的と内容を十分理解し、把握していた。	a, cに該当しない場合。	設計の目的と内容についての理解、把握が 不十分であった。	b
	Ⅱ事前準備(1)	既往調査文献の参照等、事前準備として十分な調査や資料整理を行った。	a, cに該当しない場合。	既往調査文献の参照等、事前準備としての 調査や資料整理が不十分であった。	b
	事前準備(2)	設計の目的に照らし現地調査を十分行った。	a, cに該当しない場合。	設計の目的に照らし現地調査の実施が不十分であった。	b
	Ⅲ打合せ協議	設計業務実施計画書等に関する当初の打合せにおいて、疑義についての質問、有益な提案を行う等、積極的な取組みが見られた。	a, cに該当しない場合。	設計業務実施計画書等に関する当初の打合せにおいて、疑義についての質問等の取組みに積極性が見られなかった。	b
	Ⅳ業務実施計画書 (1)	解析手法等の技術的な内容が適切かつ十 分なものとなっており、これに基づき適切な 実施手順、工程計画となっていた。	a, cに該当しない場合。	解析手法等の技術的な内容が不適切かつ 不十分であって、実施手順、工程計画の設 定に適切さを欠いた。	b
	業務実施計画書(2)	業務実施体制(人数、担当者の技術能力等)を適切に設定していた。	a, cに該当しない場合。	業務実施体制(人数、担当者の技術能力等)の設定が不適切であった。	b
2業務の遂行計画	I 打合せ協議 (1)	打合せの時期、内容が適切であった。	a, cに該当しない場合。	打合せの時期、内容が不適切であった。	b
	打合せ協議 (2)	発注者との密接な連絡の実施、疑義についての質問を行う等、積極的な取組みが見られた。	a, cに該当しない場合。	発注者との密接な連絡の実施、疑義についての質問を行う等の取組みに、積極性が見られなかった。	b
	打合せ協議 (3)	指示、協議事項を正確に理解し、適切な打合せ記録を作成した。	a, cに該当しない場合。	指示、協議事項の理解に正確さが欠け、打合せ記録の作成が不適切であった。	b
	Ⅱ工程管理(1)	当初の工程管理や指示事項等を踏まえ、適切な工程管理を行い、所用の工期に余裕をもって業務を完成させた。	a, cに該当しない場合。	工程管理が不適切で所用の工期ぎりぎりで 完了した。	b
	工程管理(2)	ミスや手戻り、外部機関等とのトラブルがほとんどなかった。	a, cに該当しない場合。	ミスや手戻り、外部機関とのトラブルが多かった。	b
	Ⅲ照査	チェックリストの作成、チェック責任者の明示 等、厳格な照査を実施した。	a, cに該当しない場合。	チェックリストの作成、チェック責任者の明示 等の照査内容があいまいであった。	b
	Ⅳ技術力	当初の検討項目の遂行や指示事項等への 対応において、十分な技術力を有していた。	a, cに該当しない場合。	当初の検討項目の遂行や指示事項等への対応において、技術力が不十分であった。	b
	V目的の達成度	初期の目的に照らし満足できる優れた成果 をあげた。	a, cに該当しない場合。	初期の目的に照らし成果のレベルが不満足であった。	b
3業務の成果品	I とりまとめ (1)	分かりやすく簡潔な表現となっている。	a, cに該当しない場合。	分かりやすさ及び簡潔さとも不十分である。	b
	とりまとめ (2)	業務遂行段階での指示事項等も含め、検討 成果を的確に取りまとめている。	a, cに該当しない場合。	業務遂行段階での指示事項等も含め、検討 成果とりまとめに的確さが欠けている。	b
	とりまとめ (3)	図表等の表現の工夫により、内容を理解し やすくかつ使いやすくする努力が見られる。	a, cに該当しない場合。	図表等の表現の工夫により、内容を理解し やすくかつ使いやすくする努力が見られな い。	b

委託業務成績採点の考査項目の考査項目別運用表

「記入方法〕 考査項目細別の a. b. c のどれか1つを選択し、評定欄に記入してください。 【設計業務】 点 要 評 定 点 要 加減点なし 減 素 設計の目的と内容を十分理解し、把握して a,cに該当しない場合。 設計の目的と内容についての理解、把握が 1業務の実施計画段階 I業務の理解 不十分であった。 h Ⅱ事前準備 (1) 既往調査文献の参照等、事前準備として十 a,cに該当しない場合。 既往調査文献の参照等、事前準備としての 分な調査や資料整理を行った。 調査や資料整理が不十分であった。 b 事前準備 (2) 設計の目的に照らし現地調査を十分行っ a. cに該当しない場合。 設計の目的に照らし現地調査の実施が不十 分であった。 b 設計業務実施計画書等に関する当初の打 Ⅲ打合せ協議 設計業務実施計画書等に関する当初の打 a, cに該当しない場合。 合せにおいて、疑義についての質問、有益 合せにおいて、疑義についての質問等の取 b な提案を行う等、積極的な取組みが見られ 組みに積極性が見られなかった。 IV業務実施計画書 (1) 解析手法等の技術的な内容が適切かつ十 a.cに該当しない場合。 解析手法等の技術的な内容が不適切かつ 分なものとなっており、これに基づき適切な 不十分であって、実施手順、工程計画の設 b 実施手順、工程計画となっていた。 定に適切さを欠いた。 業務実施計画書 (2) 業務実施体制(人数、担当者の技術能力 a. cに該当しない場合。 業務実施体制(人数、担当者の技術能力 等)を適切に設定していた。 等)の設定が不適切であった。 b 2業務の遂行計画 I 打合せ協議 (1) 打合せの時期、内容が適切であった。 a. cに該当しない場合。 打合せの時期、内容が不適切であった。 h 打合せ協議 (2) 発注者との密接な連絡の実施、疑義につい a, cに該当しない場合。 発注者との密接な連絡の実施、疑義につい ての質問を行う等、積極的な取組みが見ら ての質問を行う等の取組みに、積極性が見 b られなかった。 打合せ協議 (3) 指示、協議事項を正確に理解し、適切な打 a.cに該当しない場合。 指示、協議事項の理解に正確さが欠け、打 合せ記録を作成した。 合せ記録の作成が不適切であった。 b 工程管理が不適切で所用の工期ぎりぎりで Ⅱ工程管理(1) 当初の工程管理や指示事項等を踏まえ、適 a, cに該当しない場合。 切な工程管理を行い、所用の工期に余裕を 完了した。 b もって業務を完成させた。 工程管理(2) ミスや手戻り、外部機関等とのトラブルがほ la. cに該当しない場合。 ミスや手戻り、外部機関とのトラブルが多 とんどなかった。 b Ⅲ照査 チェックリストの作成、チェック責任者の明示 a, cに該当しない場合。 チェックリストの作成、チェック責任者の明示 等、厳格な照査を実施した。 等の照査内容があいまいであった。 b Ⅳ技術力 当初の検討項目の遂行や指示事項等への a. cに該当しない場合。 当初の検討項目の遂行や指示事項等への 対応において、十分な技術力を有していた。 対応において、技術力が不十分であった。 h V目的の達成度 初期の目的に照らし満足できる優れた成果 a.cに該当しない場合。 初期の目的に照らし成果のレベルが不満足 をあげた。 であった。 b 分かりやすさ及び簡潔さとも不十分である。 3業務の成果品 分かりやすく簡潔な表現となっている。 a. cに該当しない場合。 I とりまとめ (1) b とりまとめ (2) 業務遂行段階での指示事項等も含め、検討 a.cに該当しない場合。 業務遂行段階での指示事項等も含め、検討 成果を的確に取りまとめている。 成果とりまとめに的確さが欠けている。 h とりまとめ (3) 図表等の表現の工夫により、内容を理解し a, cに該当しない場合。 図表等の表現の工夫により、内容を理解し やすくかつ使いやすくする努力が見られる。 やすくかつ使いやすくする努力が見られな b

(検査員用)

委託業務成績採点の考査項目の考査項目別運用表

[記入方法] 考査項目細別	の а, b, с のどれか1	つを選択し、評定欄に記入してください。		【設計業務】
項目	細 別	加 点 要 素 a 加 減 点 な し b	減 点 要 素 c	評 定
1業務の実施計画段階	I 業務の理解 (1)	設計の目的と内容を十分理解し、把握して a, cに該当しない場合。 いた。	設計の目的と内容についての理解、把握が不十分であった。	b
	業務の理解 (2)	解析手法等の技術的内容、実施手順、工程 計画、照査等、業務実施計画が適切かつ十 分なものになっていた。	解析手法等の技術的内容、実施手順、工程計画、照査等、業務実施計画書が適切さに 欠け不十分であった。	b
2業務の遂行計画	I 技術力 (1)	常に創意工夫し、設計等の目的に照らし、必 a, cに該当しない場合。 要な検討作業事項や今後の検討方針等の 積極的かつ的確な提案を行った。	創意工夫が見られずかつ設計等の目的に 照らし、必要な検討作業事項や今後の検討 方針等に対する積極的な取組みが見られ	b
	技術力(2)	現地調査等の事前準備の結果を設計に十 a, cに該当しない場合。 分考慮して作業を進めた。	現地調査等の事前準備の結果を十分成果 に反映させなかった。	b
3業務の成果品	I 技術力 (1)	目的の成果を導き出すための解析手法、解 a, cに該当しない場合。 析条件を十分吟味して設定している。	目的の成果を導き出すための解析手法、解析条件の細目設定が不適切である。	b
	技術力(2)	業務内容の技術的な考察が十分なされ、初 a, cに該当しない場合。 期の目的に照らし優れた成果をあげてい る。	業務内容の技術的な考察が不十分で、初期の目的に照らし成果の水準が低い。	b
	Ⅱとりまとめ (1)	仕様書、打合せ等により必要とされた事項を 完全かつ広範囲に網羅している。	仕様書、打合せ等により必要とされた掘り下 げが不十分である。	b
	とりまとめ (2)	目的、条件、内容、結果及び課題が、簡潔で a, cに該当しない場合。 かつ理解しやすくしかも重要な点がわかる。	目的、条件、内容、結果及び課題が簡潔さに 欠け理解しにくく、さらに重要な点がわかり にくい。	b
	とりまとめ (3)	記載方法に創意工夫が見られ、きれいで見 a, cに該当しない場合。 やすくかつ読みやすい。また、誤字、脱字が ない。	記載方法に創意工夫が見られず見ずらい。また、読みにくく誤字脱字が多い。	b
	とりまとめ (4)	図表等の表現の工夫により内容を理解しや a, cに該当しない場合。 すくかつ使いやすくする努力が見られる。	図表等の表現の工夫により内容を理解しや すくかつ使いやすくする努力が全く見られな い。	b
	とりまとめ (5)	契約関係書類、打合せ資料等、必要な書類 a, cに該当しない場合。 がきちんと整っている。	契約関係書類、打合せ資料等、必要書類の整理が不十分である。	b
	Ⅲ照査 (1)	チェック方法に努力が見られた。(要点数値 a, cに該当しない場合。 の検討、図面通覧、類似比較、チェックリストによるチェック等の中からもっとも確実性の高い方法を選定し、照査を行った)	チェック方法にほとんど努力、工夫が見られず信頼性に欠ける。	b
	照査(2)	計算間違い、図面の書き誤り等の単純ミス a, cに該当しない場合。 が最終成果にほとんどなかった。	計算間違い、図面の書き誤り等の単純ミス が最終成果に頻繁にあり、やり直しを命じ た。	b